☆世 界 界革命 同時革命•世 世界プロレタ リア独裁 主義

共産主義者同盟

2月25日 第22号 編集発行人 南 安明 部30円 学年 600円(〒共)



蜂 起 社 発行所 蜂 起 社 渋谷区広尾5の16の1

登場させることが破防法常懸化の

三種分解のなかで自らをとこ たのである。即ち蘇起華

も三分解の現状を踏まえ、独力でしたのでは合せんとする動きに対して 郷度の静観と反宮下プロックへ全

基隔として結実させてきたので

地域治安管理体制の本質

中核派の諸君の12・5をめぐる一世核派の諸君の12・5をめぐる

現在にいたる彼等の動揺ぶりは

一翼たる保安処分を葬り去ること

を確認し、身をもって指 し示し ができる快定的第一歩であること の最良の部隊を結集しつつ、自ら かけられたのである。即ち蜂起草12・5結成大会は、全階級戦機 身の実践的態度と方向がヤスリに

12・5結成大会の地平 踏まえ前進せよく

を縁起・世界革命戦争派の潮流へ | 命戦争派・明治二派・宮下四宗と

保全共全国大会 (3 時·南部労政 2月26日 27日

同第一波闘争(12時清水谷公園) 28日 刑法研究会粉争闘争 3月11日 自衛隊立川移駐阻止闘争

反弾圧集会予定 (詳細は軽売等を) 中旬

全国

波圖

結

な形で与えることができるのであ 織として 生々とした 生命を様々

現在的には「過激派」に対す

計りつつあるのである。我が蜂起|先行性ファシズム権力によるプロ

包囲第一技闘争を突破口として

つもその利用は事あらば反革命組 (警団と結合しつつ郷土防衛家がそ くてはならない。 り権力は名目は精神障害者として、連絡、さらに人民内容の石嚢的目 一研究会に対する臓いは肢間されなり、

れであり、先進国武装闘争ー内戦

保安処分は常敗体制の確立をめ

の尖兵の立川移転を軸とする基地対する闘いの環として都内治安隊

らゆる先ブァ権力の攻撃をはねの

保安処分を先武闘で

## を推 進め

## 本のの問題的が大大変が正確から変わって、近くのははいった。中国主義を指する。 ・ 本ののの問題的が大き、中国には、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、 ・ 大き、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し

るものである。

そして、銃撃域が切り開いた地平を聞く受

狂乱化したものでしかない。 攻撃は、それは抉して敵の強さを意味するも

だから、軽井沢銃撃戦を断団として文持し

ことが至上命令となった。以上三的全面敗北を喰い止め反響に出る

力(防衛庁) 村させ、他方

であるマル生運動で 警察庁)の幹部を団 オロギ

点が、先ファ権力の反革命を狂乱

被等はこの恐怖と動揺から狂乱から解体し

**平翼の労働者基盤でも 庁≡受視庁の設員幹部を入っていまり、 「中国主義労働運動に再 体・目民石翼を疑察地とし、「東の労働組合政治を石 段階に於ける体系が――三** 

站を構築し、先ファ権力を 孤立させ解体せよ

人民的反撃で人民深部に兵

水の物質的基礎であ する必要に迫られている。

運動で、派兵を通して諸階級諸階層を動員

し述合赤軍の地下根拠地級級 綱、革命的

のではなく、敵の本質的弱さ、恐怖と動揺が

設置いまして我々にかけられている以革命 連合雰囲に最も集中されている狂乱の反革

確何は崩れここを昨秋鰡争で公然間つた。そして物様に支えられた 自己の仕事に対する思想的確信を

団の機動近撃収と正回収の勝利の 軍団に突かれて後退した。

える反革命軍事勢を強的に同一化する動員力をイデう。

公然軍

天皇イデオン 次社のイデオン

戦を高く評価し無条件で支持し彼等を防衛す

銃撃戦が日本武装闘争に輝かしく登場し

勢によって激起された独占内部の政治警察等権力実体の突出は、国 動揺を反映し、縢山、三木等の日 完政府は、米中会談と日中貿易攻・発展の下での自民石翼ー自衛隊・ 日帝の政治権力を代表する自民 自民党の右翼は、このアセリか しかし、秋の沖縄国会での

審議を通して突出し、腰山への統 追い込まれ、権力の深部に生命の日を獲得した石灰主流は、四次防 闘争で軍事的にも戦場心理的にも 、返還・助隊が昨秋闘争を頂点とする武装さての 第三は、権力実体=自衛隊・機 を許 々への襲撃をも呼び出したのだ。 時に、民族主義右翼の街頭突出我

危機に対する根底的恐怖と軍事戦 

重視しなければならない。

か。これがプラの突出的処理上は何一新っために仕組まれた計画的変象では充プラの突出的処理上は何一新っために仕組まれた計画的変象が、単と大民との連帯の回路を

社会に「全共秩序的特の似が味方。多類別が自然発生的に尚揚しわれ、=帝軍解係・機関隊やんめつの国、『て反享命類事勢力の一翼に単立となって全国指名学院し、市民、6、社共の指揮を担急して代題す。このエネルギーを提供率のの核や、来たように不断に先ファ権力によ アパート・ローラー作戦と町四 郷が階級分裂を引きおこすことに 七〇年六 心攻撃へ挙引できず、個別戦線の 込む欧治工作がすすめられ、 ることが困難だっただけなのだ。

民的反撃を組織せよ

地

反革命的動 員等々 市民社会と、表によって、また。 ・ 「中国社会のでは、またいでは、またれてはならない。決定 ・ 「中国社会と、一方ではすでに記し、かけて観り、歌々は組織している。 ・ 「中国社会と、一方ではずでに記し、かけて観り、歌々は組織している。 ・ 「中国社会と、「「中国社会と、」 することが正しいと宣言する。

だ。これ等様すべて「公共の秩序担罪と父兄が 反革命的期 員等々

、他方 鉄の意志をもった共産主義者の党に組み の中から鉄火の試練の中からのみに組み のから鉄火の試練の中からのみに対きまる者の党 本命に対して全人民的総反撃戦 鉄撃戦を断呼支持し、狂乱の反 が選点を試動家諸君々が生れるからだ々全国全部の同志 を組織せより 攻めないのだろう ないのである。では敵はなゼ早

蜂起の定期購読を! 1年分 1200円

蜂起社03 (446)0832, (振發)東京1512

権力の本質的弱点を追撃せよ 狂乱の反革命にひそむ先ファ

を管理する

先ファ権力の狂乱化した反革命に対決して全 に強固なものとする闘いを断団として組織し けつぎ、日本階級闘争いや日本武装闘争を更

人民的反響戦闘をただちに組織して闘うこと

することを柱として狂乱の反革命に全人民的 に確信し、更なる地下からの爆弾闘争を貨徹 権力実体、重心攻撃の戦略的重要性を決定的

反響似を組織することが急続であると

信を失い容足だのだしめたのであ はない、特に現場の範囲委員が確 はない、特に現場の範囲委員が確 に

んでゆく人民戦線派を、われわれ 郷土防衛隊の系列、機動隊は民間

すくいつつ追い込 である。自衝隊は郷土管備巡隊ーにれてある。 一体とする反革命軍事勢力の体系

左翼に散対させ、

る。物量を誇ることによって支え

4

反響板を重心攻 響を柱 に組織せ からの闘いを更に徴化し、総反響 革命的 戦の前に動揺している。われわれ

反革命軍災勢力の一

店が構する自営団

を断予資報する時なのだり

いということから来るアセリであ 集した組織壊滅作戦をかけてきた衛する体制を再規係が出来ていな 渇からの反撃としてわれわれへ密化という二度因の忠設を通して貧、警察が昨秋闘争で追い込まれた後化という二度因の忠設を通して貧、警察が昨秋闘争で追い込まれた後 角核均衡と8不均等発展の対立深 して自民党を突きあげ(ロ)政治侵略反革命軍事外交を0米中ソ三 (イ)即ら自衛隊が四次的で突出 種の日程をひかえながら、アジア一五批准書交換・五・一五沖縄返 第一に、日帝の政治権力が三 軍事的恐怖とは何であろうか。 して狂乱する権力の政治的動揺と 撃持しうる政治権力の確立、これ・武装闘争の新たな攻防地平に対 命軍専同盟を沖縄基地を奨として アジア
けての先ファ権力の暴力的実体 生二・ 突出的反撃の決意であった が自民石翼の再編の狙いであり、竪持しうる政治権力の確立、これ このアセリと再編への攻勢を受 生命が危機にさらされたとたん、 られていた軍事的優位の確信は、 の技術的側面の特徴とは何か 本質的弱点を補完する反革命

この米中ソ三角核均衡と不均等

のである。

いったが評判に、この本質的認成、を補売してれわれへの認識性能な。 的記載・反抗に貢献となけ、ればならな、組織性に依存し、大変時の協議。 おける事材・教学の生活を改革・東小家を、フ・権力が、よの報告本語性と、 地田・子ろの 動類の本質を退壊さ、革命略略に、り自己の刺さを効却するかなに先、トへの飲料・動類の本質を退壊さ、革命略略に、り自己の刺さを効却するかなに先、トへの飲料・動類の本質を退壊され を補完せんとする権力の技術的積 しかけてくることを見落してはな

を補完しわれわれへの壊滅作戦を組織性に依存して、技術的に弱点

通した活動域教師およびシンパの わいるハレンチ頭の延延犯人の写 動に包摂されていた部分の中か的観響、反職救師キャンペーンを い。だから革命軍はよの写真をい こすほど、従来社長の人民戦級運の投資を設ける教に基心信シンパへの政治 反共議共変勢も掛ることが出来な 級の分裂を大きくまさむこせばお 対して、あらたな攻撃を開始した
彼等は下力の壊滅作戦に協力しない部分に
ゆくのだ。

界革命戦争設むよび革命的武装勢、革命軍事勢力の一翼に組み込んで、一様力の反対には張い、 権力はまた、われわれ蜂起、世一を輸にして、市民社会の組織を反、撃しなければならない。 である。

級の分裂を大きくまきおこせばお 力の政治基盤を拡大してくれていだがしかし、権力の攻撃が、階 線運動を呼び出し、革命的武装勢 るので

ただこれに接点をもった八銭が

政治的質を公然領域の重団が、戦・闘争から辿らに立川基地攻撃闘争 合した軍事戦闘であるかを鮮別に一学として闘うのだと 闘的大衆を採介として階級内部に たから地下正規軍の軍事闘争の い。我は二・二六・

を確付したし、現実にも埋い組み、たな然の歌聞で、地下正規単氏士を確付したし、現実にも埋い組み、たな然の歌聞で、地下正規単氏からを実行して来た。即ち、地下正規をつくら出すことが急勢しからを実行して来た。即ち、地下正規・大会然の歌聞で、地下正規単氏士を上述ない。 我々は「蜂起」20号で先進国武 確信し、闘いの中で戦闘によって く、狭定的戦闘なき建党路線はた 単心攻撃なき共産主義政治はな り連続して機動隊せん飯 先雄国建軍の鉄則を

だ。この正殺せ

るではないかく 刑務所疑動を支 サーの革命的兵士を、権力の同志 いる」と、脳駆金に イカロス優易(トーワロード) 神 戸

600円 (郵送料共)

都受明二条上九) 大阪ウニタ(大阪球場西側) 本書院(南森町)曾根崎島店(阪 汉 酉

大

力は、あの革命的兵士たち

雅 (河原町今出川) 三月後房 |名吉屋ウニタ(銭王山通) ば番房(河原町三条上ル)関「番 京都書院(河原町四条上ル) 京都 名古屋

武装した数千の反革命武装集団を 筆」のあの英雄的、革命的兵士!

闘争へ寄く时、地下正規軍の姿な 襲撃の中で、あらゆる迫害の中で通じて機動隊せんめつ・帝軍解体 権力の集中刊テロと民間右翼の

職と結合して全人民のものとなる 現者として緊持し闘いの中で打ち

我々は公然軍団を地下正規軍の表

学院生協(金沢八景) ルピコン書房(横浜駅西口) 神奈川

闘っている先進的労働者、学生、日々、権力の抑圧と支配と弾圧と 破弾縮より緊急のアピールを送 Jの59の職場、学園で、

コマバ書店(駒場以西口) ショップふうらい (北池袋駅前) ブック 神寺ウニタ (宣祥寺北口) アヴァ / 書房(国分寺南口国分寺マンシ 南口)雄文堂(目黒駅西口)

(養店 (池袋西口) 幻游社 (下北 ンニタ雑店(神田神保町)文献堂

でいたいでは、いっとかっているは、一般ないでは、一般など、大きないないである。これであれている。の知识では、現代の関係なのが、全般な経緯を生みためには、中本のようのでは、「それに、中できたは、できた は、または、東の大きのでは、国国経験を対し、ないのでは、は、東の大きのでは、、または、アラミカは、東の大きのでは、は、東の大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きのでは、大きの大きないは、大きの大きないは、大きの大きないは、大きの大きないは、大きないのでは、またりには、大きないのでは、大きないでは、それらないでは、それらない これらない これらない これらないがでは、それらないではないでは、それらないでは、それらないでは、それらないではないではないでは、それらないでは、そ 大衆的全人民反響を組織せよう

権力実体攻撃を柱とする全 写真」とやらを街中に貼りめぐる等、何 ってでたらめな犯人御田しによる めて掲載しました。

促進され、大衆が爆弾闘争派を支 民社会に対する先ファの政治工作 への権力の集中砲火が必びせられ の一翼に組み込まれる目常 「蜂起・戦争派」

れわれの重心攻撃を軸として分裂 ければならないし、主要側別収線 エネルギーを蜂起・世界革命戦争 する階級と噴出する戦闘的大衆のの運動を、組織的戦略的に領導 われわれ蜂起派は、今こそ、わして、人民内部で組織していかないのである。 と真正面から闘い、破防法常騰

単端が連合への道を、蜂魁への道 大衆の前から除すことはなかっ単端が連合への道を、蜂魁への道 大衆の前から除すことはなかっ 釈の一大政治制派へ結集させる時 を断予資物する時なのだ~ 公然 緊持し蜂起とAIFの旗を盲都の軽井沢銃鏖敏に呼応し武装闘争 以降、この確信の下に公然單団を 我が蜂起派は、七一年四・二八

視せよく 敵権力は、

物取扱書店 東京

でいるからである。わが破弾器は し、傷つき倒れ、不幸にして抽わ し、傷つき倒れ、不幸にして抽わ そして彼らと 連帯すべ く早急に 確得した最低限の思想性なのだ。 を行っている。それは、破帰闘が 教授のさしのべるべく懸命の活動 れの縁となった民士達にあらゆる 的規律と革命的人道主義を堅持し であろう。なぜならば、兵士達はり、こっぱみじんに打ち砕かれる 天民に服務しているという革命

名のもとに隔離・収容・抹殺せるとする保安の名のもとに隔離・収容・抹殺せるとする保安の分別といの一点をめてって展開されているのだ。預述 便革命集団 内細する 間で聞いとるかをめぐってプロ独派内部の三分解を 向派を完膺なきまでに粉砕しつつ、宮下、明治二派 分と、これを粉砕する我々の側の細いは、かかる極 つつ、プロ独派=革命宛・革命家を「気ちがい」の 一重の闘いをめざし全人以を領導し徹頭徴尼貫徹し 9・戦時においては「赤」狩りが歴史的には平時において「精神歴史的には平時において「精神 意図を見なければならない。先フーあ

強化され、同一組織において補提

地域治安管理体制の本質があるか 地域治安管理体制の本質があるか で

より権力の実体に迫る中でその本

成職化に対決し地域治安管理体制

スローガンは反革命軍事勢力の育

さて、今まで警察を精神病院を「軍事勢力の一翼としてつき動かし

る組織系列を先ブァ権力は反革命 | の実体的担い手は①目術隊-郷土

確に独占主流・自衛隊・政治警察

している先ブァ権力のうちにその「て反革命軍事勢として再編しつつお名ま意味を平時によびこもうと」により民間ニュライトを総体とし

を蜂起・世界革命戦争訳の潮流 反映しプロ独派内部から生れた 力そのものに対する闘いと、こ

ていかなければならないだろ

2・26全国大会、公法務省局

研究会粉砕をその見なる規能とせよく ・ 権力 | 在 音系を釉に精神病院 - 保健所 -

であると適信したからである。こ 処分粉砕闘争を切り聞きうるものであると適信したからである。こ 本質は一体 |密な都市・特定の地域六十六 の精神衛生特別都市対策要綱は過 生脳域会」という巨大な公安組織 補郷教官ー昭工会議所ーライオン が育成されつつあり、昭和四五年 ンプ、婦人会を含め「精神術

子)を拉致せんこする際、ピストルを 軍兵士(森恒夫)、反米愛国兵士(永田洋

類体制は、一九五〇 ずる ものと確信 す マワー事件の翌年に 上の解明が地域治 (2) 監察 一造」がこの何にとらえられ、 ような弾圧を受けるか保安処分の どのような かたちで「精 神障害 通報においてなざれ、 そしてその 訪門地における「精神障害者」狩 作りが外来・入院・措置

大四年ライ 自傷他傷のおそれ 人能の変化として 我々はさらにその権力の本質、政 始的意図を把握しなければならな

武装闘争を「狂気」の名をもって炸烈する蜂起・世界革命戦争派の

ってまた保安処分粉砕の闘いが、 封しこめんとするものであり、従

級闘争を担ってきたのか、また担一団―巡邏粉砕論者を唯一の基準に

とは一切無縁な反中核弱者連合集 階級闘争の到達地平=建党・建軍 たのである。この独共闘は現在の 向い反革命集団の 実は富下四派=神共闘の利害で日

の本質的な問題である権力問題へ

11・5保全結成大会において、 | して克服すること、上して設定し

とは何か

おうとするのかという、すぐれて

「交流集会」なる条番を領じた宮、不十分性は、その革命的実践を通っかかる視点からの理なる豊富化を

争主体へと結実化させ、保全共の

スローガンを基本的に確認しつつ。我々はा会において獲得された。

業紙のうそぶ のは権力ー両

虚殺を忘れるなく 十八日の反米愛国兵士(柴野春彦)へのを意図しい担撃である。-一昨年十二月

員完全武装の公認殺人集団化した敵の意 り「ライフル部隊」五〇人を配属した全りを筆頭に、殺職機関の中枢=警視庁よ 敵の四千人に及ぶ狂凝極まりない山狩

証拠はおろか、供述証拠すらない全くもに「強盗」する「家宅収案」やら、物的 る「アパートローラー作戦」、好き勝手 カンパおくりさき を対象に好き勝手に「不法家宅投入」す 授会に集中せよくを対象に好き勝手に「不法家宅投入」す 授会に集中せよく 大胆!

モップル社の姿調を受け、連帯の意を込 日本亦色救援会丁EL三五二一五八七 新宿区新宿ニー一七もっぷる社気付

権力のフレ

日本赤色救援会 赤色数 挑്

今こそ大回団結し、町子として

ームアップはねのけ

して反響している。一七日朝、敷は、赤 「土田宅爆弾」「新宿交番ツリー爆弾」となる。一七日朝、敷は、赤 「土田宅爆弾」「新宿交番ツリー爆弾」を使いまった反革命の風は、この個の ない恐怖に浮き足立つ小心質明な未端質など一連の爆弾闘争を契機に、その限り 赤軍兵士を断字支持せよく 売場よく銃撃戦を展開・死闘する連合 軍の全員抹殺を企むに止まらず、

は、狂暴なる反革命の風が、一つ連合赤すこと話しい限りである。ここに至って 兄弟たち 権力に抗する全ての兄弟

全ゆる支援の手を

の狂暴化した反革命の嬴が煮つまった。革命の軍隊-人民の軍隊-連合赤軍へ

山狩り警官ピストル

で射殺を企む

員射殺にあることには余りにも明白であ

| ある。常備軍のまわりに郷土警備 | 公法務省包囲第一枚闘争・22刑法 | らない。第二に反革命軍事勢力! うべきか 街の風紀を乱し、館全な市民生活を脅か

門に行うためである。だがこの意

我がものにしなければならない。 三、いかに闘 をしっかりと観程にいなけ

闘争緘圧のための反革命軍事勢力 く。であるが故に先ブァ権力との •15~5・15以降の沖縄派共阻止

生法体制が存在し、かかる先武装 警解連帯ー鎖土防衛隊で被回路ー を補完するものとして更に精神権 |武装闘争を拡大・探化させる公然 安処分戦線の構築等各戦線の闘い 係共闘の強化の疾防闘争における と戦闘的人民の回路を分断するあ の戦列の強化の破防法戦線での保 「患者」「家族会」「市民の会」 以上の闘いを帝国主義心臓部の

争定断学として勝利していくこと し先武闘で「保安処分」 反革命集団=日向との党部職

n 解体を促涎していくことでも

そのことは明治二派・第下級の

を縁起世界革命戦争派の開流の拡 大・強化として集さなくてはなら

大学での学会粉砕闘争、精隆研・ 国闘争に向け①医学連を軸こした の御を形成できるのである。これに支えていくところの膨大な人民

解体・軍事産業解体闘争を闘いと一雄的に闘いぬぬかれている地下 班軍の爆弾破壊戦を・銃撃線実際

関係庁原案が作成され、強表され、四次的は、すでに七一年四月、

い法問題の中心になっているT

日帝の七〇年

代軍事戦略

(2) 国内の緊急事態および関係

侵略の事態における地位・

|関内の緊急事態および関接 (十)は「平案から全国各地に一平案における地位・役割 る地位・役割

規模武力を併用する事態に 止及び 防衛基盤の 育成に貢献す えないこと、内戦が世界革命戦争間接侵略手段を主用し、小 ていることは、國接侵略の未然防 る。内戦が国際的内戦にらざるを

|議会主義の鉄則である手続き間 ・L(次期対路哨戒機)、等の新

『年度から、四次紡を実現しよーる。そして、七二年度予算政府價も、意識的に無視してまで、 装備を導入をするものとされてい

V服帝国主義政府は、アルジョ

AEW (空中早期鬱戒機)、

自衛隊立川

移駐を全力阻止せよ!

の米中会談は、先はども明らかに 自衛隊の軍事戦略は、すでに述した米中ソ三角核均衡美現のため けには、いかないのである。

この文書は、外に(人民に)も ているのである。

療状の 対立を基底 におき、自良 ントト 長距離信客機、Cーー国産 関する光ファ権力と入侵戦 ントト 戦闘機能機、RF4 Eファ 関金のこの郵政は、日帝の軍事力、修門にすぎない)、F四日 Jファ 関金のこの郵政は、日帝の軍事力、修門にすぎない)、F四日 Jファ

反革命問題の 再種にして、神輿・國「による。「野外会」には国軍・ていることを持ると送日・「韓」・國主義諸列集中最前の劉智経済成・劉元快定的な影響を与る言語学を一かし、帝国主義の深力等改建に入めった。月・三一書房「国・新家の一條新」・)の改造・工文書書が創立込まれ、ことを余義なくされて米市と、帝・献することにより、乾燥の戦略行・ ニタン・帝国主義のが出立します。

報介の登録場合、ベナイを中しされくの終止はつき選挙は、きさんが十十年記書を由させいと指摘なおり 報介の登録場合、ベナイを中しされくの終止はつき選挙は、きさんが十十年記書を由させいと指摘なる。 を子の建設部の最初の報から、とどいろ、ちだたに、十一、ス学の創書と議論とは発表には、文学を書き生まっている。 中で、グラム・ドイトンとを中下・トンとは、これを必要されば、東がある。 までもない。こうであるが、常国主の内実を、キー・ストーンの建築。こなかった美夕乱をラオスの末ーめることもに、大〇年代半ほどお前者については、いまさらもの、の能力を向上する」。展った、そが、これまず政策的にしか使って、体制を傾向にたさらい証据を早れ

トーンとは「これを文配または古一意がある。

ニクソンはいま筋中している。

えなくとも、中国を米ソの等距離

する対応として米帝の基本的国家・き対象なのである。

米帝の方が、軍事的には接近すべ

出す、天皇イデオロギーを軸とす

沖縄派兵・立川進駐を

実力阻止せよ

これはいま述べたように

沖縄立川・練馬基地解体闘争を闘

をミサイル艦艇、上阪用艦艦、新型防・高等練習機、エー2超音速ジェッ巻新型輸送機、エー2超音速ジェッ

2.20

## 首都反革命 練馬第 叛 軍 戒厳令体制をつきくずす の尖兵 師団

全国の回代。戦士権・万・3年、の革命家「に対する求人」「国際等と自兵戦」「初の党が、なたれるうって領土の地が、大力・1年、東京と、大力・1年、大力・1年、東京と、大力・1年、大力・1年、大力・1年、東京と、大力・1年、大力・1年、大力・1年、大力・1年、東京と、大力・1年、大

盟は、権力性格の転換を行なった の根底的敗北となったのであり、 影響を組織するも封じ込められた 行ったのである。わが同盟は、 しの封じ込められた軍事の壁をい | 封じ 党派闘争に一定程度の抉着をつけ

反革命革マル

明白であり、世界革命戦争を目指

委員会は、強闘な攻撃体制でも、

して、勝利的総括をすべき事である。

吾が『蜂起派』に結集した部分を除く

華共同の即目的反スタ主義が、裏返し、

それを党に於いて対象化しなければなら ち匿めずべての個別概争を武装終起に向意を目々ゆるぎないものへと打ち固め、一個いを軸に、先進国武装翻争の陣型を打

豊歳 雅子(三里塚戦士)

に、地上

蜂起社でも扱います

●・電話○三(四四六)○八三三振替(東京)一五二二

労働者国家内開設競争と後進国に於ける。原とする自希ブルジョアジーは、沖縄自 心でいた私が、今ここにこうしては一世界共産主義こそが、泰曲された 今現在、独古主派と帝軍=自衆隊を譲 君の不退転の闘いを歓遊より彼方

前段直接攻撃の闘いに合流出来ることの

さらぎ徳二著

定価 800円

残部少数

定価 300円

好評発売中

定価 400円

定価 200円

2

回志諸君々兄弟諸君々

- 革命が、脱戦略一国主義援動路

を試みたが、権力を把え切れない見切りをつけ、11・19闘争に突出 フロント・赤色戦級が公園闘争に 宮下四派も中核派の突出から、 集団を粉砕せ

一つこと、これであった。まさしく

とにあった。まさに公然軍団 ら放塞された。わが共産同蜂起祝ろの倒鸞国会闘争求を粉砕す | 破防法戦線・保安処分戦級等々かます人民戦級左派に傾斜する | 敵対を行なった日尚派は、すでに (5) 12・5 保全共結成大会に反革命的 に 何の論理もなく背後から要素し、 に 例の論理もなく背後から要素し、 に 仮 頭で権力と闘っていた回志倉田を に が に が に が に とである。 最先 一覧 華マル以上の反革命華マル集団に ろう。問題なのは、あの矮小な日

UDだ開始二級、宮下四級の倒

から全戦線に敵対する反革命とし の第三次アント」であった

野び、テロタ 5戦士の志受 る革命党の国際的任務を忘れ去り、沖縄、労働者国家内開致闘争・後進国に広けるの機を興望し、完全に過程期世界に続け ロ织ー世界共産主義とそが、歪曲された関関国会闘争を理機に定称危機から収拾 に対して、吾々は世界革命戦争・世界フ を選に縁起を動職しつる先生国国政製師寺 するものである。時にそれは大衆運動か もって香々、乾中、統一赤軍、赤瀬沢を 惋倖を共に分からあいたい。一金驀動・内高し発散を求め歌騒的大衆 略をあらゆる破験の原則的スローガンと 独宗=蜂萃、戦か歌を壊滅させる目的を 前見世接攻撃の闘いに合語・

然、一機と目衝隊警務隊が我々に|義軍隊に対する爆弾破壊戦で援護 し、練馬基地攻撃に向け、 加え、爆弾破壊戦と折からの連合|御的潮流を形成し、日帝先ファ梅

て来たが、我々は、共産主義を組 方を建設せよく真和の国際主義の 家域に対する恐怖を我々に外化し | 衆の政治工作を責載し、兵站一後 家はの兄弟だらが腱階している錠 | 力を逆に封じ込めより家による大

これまでは、米帝よりはその。米帝にとってニクソン訪中は、ニー自衛隊奪僚の孤定に従って同題に

いて、「四面毎に囲まれ、貿易立 に南ペトナムかいらい筆の

帝国主義の盟主としての位

万人への増大によって、む

・帝国主義の不均等発展ードルだ 同じだとしても、国境を接して歳 漢というプルジ

山本 容 康夫

2・20首都反革命の尖兵練馬第一

師団前へら戦士の志を受け継ぎ目衛隊・機動隊の戒敵体制

七一年四・二八情水谷武装三派「番屋製=機動隊せん級戦と共に昨

心い知らせてやろうではな | 微して、蜂起・内戦=世界薬

を突破して前進するAIF叛軍

|鎌する軍人であり、軽井沢鈴鑾収 | 旗を堅持し、現代革命の核心=※

戦争に勝利するために、全国の革 を質赦し、蜂起・内戦=世界革命 命的周志麟者は、共産同蜂起派に

せよく蜂丸・世界革命戦争派の日 全国の革命的問志諸君ノ我々と 鉄の戦線

起 NO 14

残部少数 定価一一反帝戦線機関紙-

配のよころにお願いします。 私養和殆号は都合により中止しました。以後我同盟の連絡先は左 渋谷区広尾5の16の1 北村第一ビル内

電話〇三 (四四六) 〇八三二

世界暴力革命論

現代革命の理論体系

振替東京一五一

私書箱中止のお知らせ

於いて再激し、昨秋 派職争争終る過程に 嫌数な昼何派との党 期世界等に要求された党の革命を晋々が の原則をどのような問題のもよでも買く らの共産主義に対する確信と闘争への決 降ろさしうる、レーニン党の止揚としての過渡 的少数欲であり、過度期世界の国際主義、 吾々のたとき劉人レベルに於いても、自 突出す 起・内戦、世界革命戦争をを組織し勝利 三里塚機動隊殲滅から 派兵前段直撃へ進撃

昨秋武装赐争を蜂配•内毗=#

全国企業が同志権委が記述権が の一環に超次込むでゆくことは出来なか、明正をはお某し、地下ます場合に現代職務刑罪が応託いて蘇った。 つー環に超次込むでゆくことは出来なか、明正をはお某し、地下ます場合に現代職務刑罪が応託いて蘇った。

一番なは、米たらべき米米を属する革命 る独自の闘いを最後の最後まで質難し、 必ずや朋かなければならない。った。 いて内的塞ぶ統一を勝ち取り、蛇に飛げ 地下正規軍の軍心攻撃によってった。

復帰宣言 弾圧をはね返し、地下正規軍と軍場に於一圧、武陵解除を着かい、地路である以上、吾々は、先ファ権力の たものと誘等に受け、を約束する際史的論類的検証に基く革命 総一戦線の中に於い しれない。しかし又か唯一この道が

あらゆる 革命 党派

3

好 評 発売中 定価 B5 **400円** 115円

☆党の軍事戦略と軍紀 ☆我々の政治主張 主 要内容

全国書店で好評発売中 ☆黒田体系の根定的解体 ☆我々の革命論の到達点 ・共産主義を鉄の五大規律に打ち回め党属と・攻撃の軍事戦略とは何か 軍紀に打ち固めよ

鉄の戦線No.1 対正したお詫び、金国共興業務局 お大りなど、回来に対しているのは、日本の が、大力など、回来に対しているのは、日本の が、大力など、の事業が出し、ころのは、日本の が、大力など、の事業が出し、ころのは、日本の が、大力など、の事業が出し、ころのは、日本の が、大力など、日本の が、日本の は、日本の は、日本の は、日本の は、日本の は、日本の は、日本の は、 ▼報告編 ▼発刊にあたって ▼メッセージ 員予也▽製西共開会議結成宣言▽精神術▽関口進氏遺稿▽鳥山・五条山・碧水荘 ·主張 刑法改正-保安処分新 大精神科評議会・中山宏太郎大精神科評議会・中山宏太郎と対策士立命館教授・佐伯千仞マ京大神の大瀬の大瀬の一大神の大瀬の一大橋が大教告・久徳に大教告・久徳に大教告・久徳に大教告・久徳に大教告・久徳に大教告・久 過渡期世界論特集 蜂起社でも取扱います ▽刑法学会・犯罪学会闘争他▽「戦旗」 生大会・十全デモ他▽精神神経学会声明 主 「烽火」 設を粉砕せよ 鉄の戦線No.2 要 一論文他 内

## 中国に接近し、ソ連に逆に二正面して抑止力が核によって形成され、民を媒介として形成の一学を踏み 続は進行している。しかし、ころ、自己の任義として把え込さないか、無際重難額上を輸上した繭いと準つ利害の一致によって、米中会、貨幣することの収穫を、まさして、で期日するであろうが和人民の自己した、対ソ関係をめてる米、らゆる一国主義者との党歌闘争を、年間を一年に圧縮したような情度した。 らば、方か中国としては組みし易い。そ、脚を貫く地点を、自衛隊の沖縄状を、自衛隊の沖縄状を攻撃、における過ぎを襲撃された米帝の、われわれは、日帝の軍・庶民諸府、ソ後戦、ナム革命戦争において、人民戦争、争に対応するには十分ではない。 また過渡期世界の階級関 保安処分粉砕 全国共闘会議•刊 **B**5 130P 定価 350円

第二次参考案▽精神衛生法他

TEL (四四六) O八三二巻巻 (東京) 「五一二

▽刑法改正解説▽刑法改正理由書▽刑法